

平成25年度 第7回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成26年2月12日（水） 13：00～17：15

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（(独)労働者健康福祉機構関西労災病院

勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

川村 孝（国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか9名が出席

4 議題

（1）平成25年度追加採択研究課題（課題番号：1304、1305）の中間評価（ヒアリング審査）の実施

（2）平成26年度新規採択研究課題の選定について

（3）平成25年度採択研究課題の中間評価の結果について

（4）平成26年度食品安全確保総合調査課題の選定について

（5）その他

5 議事概要

（1）平成25年度追加採択研究課題（課題番号：1304、1305）の中間評価（ヒアリング審査）の実施

平成25年9月に追加採択した以下の2課題について、平成26年度への研究の継続の要否、研究計画の見直し等について審査するため、当該研究課題の主任研究者に対してヒアリング審査を実施した。

・1304：遺伝毒性発がん物質のリスク評価手法に関する研究（小野敦 国立医薬品食品衛生研究所）

・1305：食用動物由来薬剤耐性菌の定量的食品健康影響評価モデルの確立（田村豊 酪農学園大学）

(2) 平成26年度新規採択研究課題の選定について

前回の会議において事前評価（ヒアリング審査）を実施した10課題の審査結果を踏まえて事務局で取りまとめた評価所見（案）について審議を行い、同案の文言を一部修正し、了承された。

併せて、これら10課題の採択の可否について審議を行い、このうちの6課題を新規採択課題とすることが了承された。なお、委託費の配分額の調整については座長一任とされ、今後、事務局を介して各課題の主任研究者と調整することとなった。

(3) 平成25年度採択研究課題の中間評価の結果について

前々回の会議で中間評価（ヒアリング審査）を実施した以下の平成25年度当初採択課題（3課題）の評価所見の修正案について審議を行い、同案のとおり了承された。

- ・1301: ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型BSEの人に対する感染リスクの定量的評価（松浦裕一（独）農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所）
- ・1302: 核内受容体作用と酵素誘導解析を基盤とした、化学物質による肝肥大の毒性学的評価に関する研究（吉成浩一 東北大学）
- ・1303: 化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点（吉田緑 国立医薬品食品衛生研究所）

また、(1)で実施した2課題の中間評価（ヒアリング審査）の結果を取りまとめた上で、5課題の平成26年度への継続の可否について審議し、全て「継続可」とすることが了承された。なお、2課題の中間評価に係る評価所見の取りまとめと委託費の配分額の調整については新規採択課題と同様、座長一任とされ、今後、事務局を介して各課題の主任研究者と調整することとなった。

(4) 平成26年度食品安全確保総合調査課題の選定について

前回の会議での意見を踏まえて修正した平成26年度食品安全確保総合調査課題の仕様書（案）について審議を行い、案のとおり了承され、6課題を実施することとなった。

(5) その他

前々回の会議で事務局から平成25年度終了研究課題（8課題）の進捗状況を報告した際に、委員から事務局に対して研究者に確認するよう求められた事項について、事務局からその結果を報告した。

(注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)